

## 生き残りをかける地方市場の現状

### 札幌証券取引所 Sapporo Securities Exchange

札幌証券取引所におけるベンチャー企業向け新興市場である「アンビシャス」は、北海道経済を担う企業群の円滑な資金調達の場を提供すると共に、投資家に新たな投資機会を提供することを目的として 2000（平成 12）年に創設されました。

現在アンビシャスには 6 つの会社が上場していますが、その内 4 社は東京に本社があります。しかし「北海道経済の発展に寄与する」という目的を達成するために、アンビシャス上場を目指す企業（起業予定者）・上場を果たした企業を対象に「アンビシャスクラブ」という各種セミナーや交流会を開催する会員制の組織を運営しています。

### 名古屋証券取引所 Nagoya Stock Exchange

日本の三市場の 1 つである名古屋証券取引所には、東証・大証と同様に一部市場と二部市場、そして新興市場向けの市場であるセントレックスが開かれています。また、左記のような株式市場だけでなく、公社債市場や外国債市場、新株予約権付社債券・新株引受権付社債券市場、新株予約権付証券市場も開かれています。

1999（平成 11）年に創設されたセントレックスは、売上や時価総額の大小よりも当該企業の成長可能性に重点を置いている市場で、上場審査の早急さも 1 つの特徴です。現在同市場には 26 社が上場しており、地方の新興市場としては最も多い上場数となっています。

### 福岡証券取引所 Fukuoka Stock Exchange

福岡証券取引所が開設する Q-Board は、日本の証券市場の中で最も上場審査基準が甘い市場として知られています。現在は 6 社のみの上場に留まっていますが、札幌のアンビシャスと異なりその内 5 社は地元企業で占められています。

また 90 年代後半から取引所自体の解散が囁かれていましたが、地元経済界と行政が「福岡証券取引所活性化推進協議会」を設置し、地域一体となって同取引所の存続に貢献しています。

参考：札幌証券取引所 <http://www.sse.or.jp/>

名古屋証券取引所 <http://www.nse.or.jp/>

福岡証券取引所 <http://www.fse.or.jp/>